



もりんぴあフェスティバルも3回目！！

もりんぴあフェスティバル実行委員会を発足し、コミュニティセンターと利用者、地域が一丸となったお祭りとなりました！

開館初年度に行われた「公津の杜コミュニティ・フェスティバル」から数えて3回目のお祭りとなった「もりんぴあフェスティバル」。

開催日9月27日(日)の朝は小雨が降っていましたが、関係者の願いが届いたのか、オープニングセレモニーがはじまる9時45分には、雨も止み、過ごしやすい気候になりました。午後になると好天に恵まれ、延べ6千人の方々が来館されました。

今回のフェスティバルから、参加者を中心にした実行委員会を発足。出演者、出展者が多岐にわたってフェスティバルの運営に関わるようになりました。また、子どもボランティアの小学生たちも、プログラムの配布や、ニュースポーツ体験、チャレンジランキングのお手伝いなど、活躍してくれました。まさに地域の方に支えられたお祭りになりました。



ゆるキャラが盛り上げたオープニングセレモニー！！

9時45分からロビー特設ステージで行われたオープニングセレモニーでは、主催者を代表して「もりんぴあフェスティバル」実行委員会会長の高橋良雄さんのご挨拶。併せて、フェスティバルの概要を説明していただきました。

来賓として出席の関根賢次副市長からはお祝いのお言葉を頂きました。

その後、ゆるキャラグランプリ2015で奮闘中のうなりくんと公津の杜小学校のキャラクターもりもりくん、もりもりちゃんが特別ゲストとして紹介されました。そして、公津の杜中学校吹奏楽部による開会宣言とファンファーレにより、フェスティバルの幕が華々しく切って落とされました。

参加者の声からはじまった「会場めぐりクイズ」

過去のフェスティバルでは、見学にいらした方が広い会場のすみずみまで行かずに、2階や3階の会場の展示や演奏、イベントを知らずに帰られてしまった、とのご意見から、今回、新たに誕生した「会場めぐりもりフェスクイズ」。

子どもから大人まで、200の方がクイズに参加され、会場をくまなく見て回られていました。隠された正解を見つけ出された方々から、抽選で「大型うなりくん」や、秋の実りのお米5キロなど、豪華賞品をプレゼント。10月4日には贈呈式が行われ、当選者の笑顔がはじけました。次回も多くの方の参加をお待ちしています。



サロン特設ステージ

吹奏楽
器楽演奏
サルサダンス
フラダンス
ベリーダンス
大正琴
フラダンス
フラダンス
ヒップホップ
フラダンス
バレエ
フラダンス
フラダンス

【出演団体】
公津の杜中学校 吹奏楽部
アコード・アンサンブル
成田キューバンサルサ
オル・オハナ公津の杜
アクラム
大正琴詩音の花
ハラウハアフラナヘナヘ
Hula Lokelani
WISH
Pua Malie
クリエイティブ・バレエ
フラスタジオ・マハナ
カパーフラクワイオピカケ



1 階サロンの特設ステージでは、13 団体によるダンス、演奏の発表が行われました。多くの団体が当館スタジオで練習している方々で、華やかで色とりどりのお揃いの衣装に身を包んだ姿は、普段練習の時に姿とは異なり、とても輝いて見えました。

13 団体の中には、開館初年度の 2013 年に当館主催で行った講座から誕生したサークルもありました。ダンス始めて 2 年、たくさんの人前で堂々と踊れるダンサーまで成長しました。当館誕生のサークルということで、勝手に親のような気分になっており、我が子の成長を見届けるような眼差しで見せてしまいました。正面入り口、駐車場側入り口どちらから入っても来場者の目に入る特設ステージは、注目の的。たくさんの方が、華麗な踊りを楽しみ、優雅な演奏に耳を傾けていました。

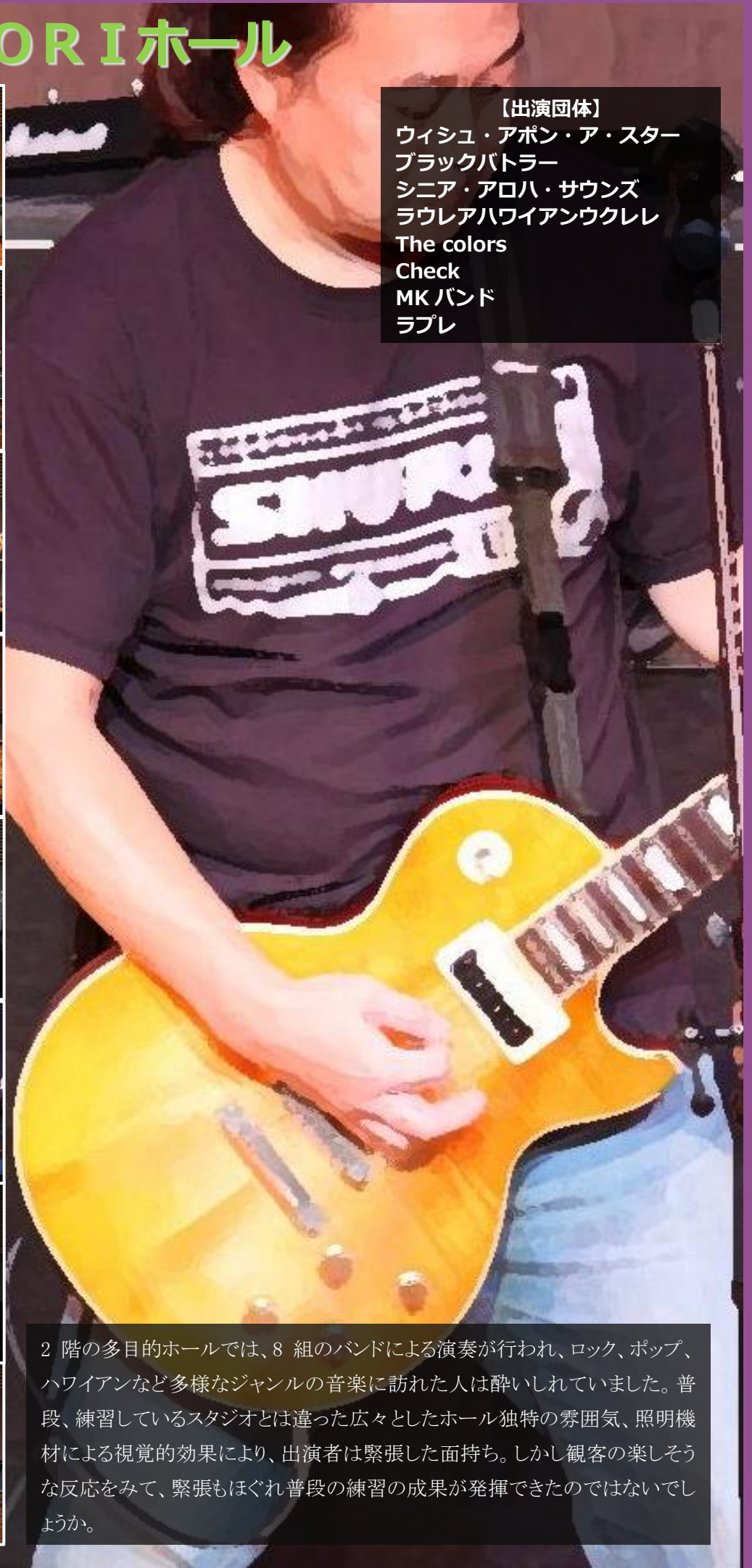


MORI×MORIホール



【出演団体】

ウィッシュ・アポン・ア・スター
ブラックバトラー
シニア・アロハ・サウンズ
ラウレアハワイアンウクレレ
The colors
Check
MKバンド
ラプレ



2階の多目的ホールでは、8組のバンドによる演奏が行われ、ロック、ポップ、ハワイアンなど多様なジャンルの音楽に訪れた人は酔いしれていました。普段、練習しているスタジオとは違った広々としたホール独特の雰囲気、照明機材による視覚的効果により、出演者は緊張した面持ち。しかし観客の楽しそうな反応をみて、緊張もほぐれ普段の練習の成果が発揮できたのではないのでしょうか。

ギャラリーMORI×MORI



【展示団体】

成田アートフォトクラブ
片岡書道教室
マイドール
仮名書道研究会
ワード絵画彩の会
裕成会
青穂会
油彩カクテルローズ
ホワイトバスケット
なかよしひろば
成田おむすびプレーパーク

ギャラリーMORI×MORIは、参加したサークル・団体の力作が勢揃いしました。日頃から「もりんぴあ」を利用されているサークルが主な出展者で、よくお見受けする方々の作品が並びました。皆さん、活動の成果を遺憾なく発揮されて、多岐にわたる分野の作品群がギャラリーの壁面を飾りました。大勢の見学者が作品の鑑賞に訪れてギャラリーは終日にぎわい、出展された方々と見学者の交流も図れて、楽しい一日となりました。作品の一部は10月4日まで展示を継続し、来館者の目を楽しませていました。



マルシェ



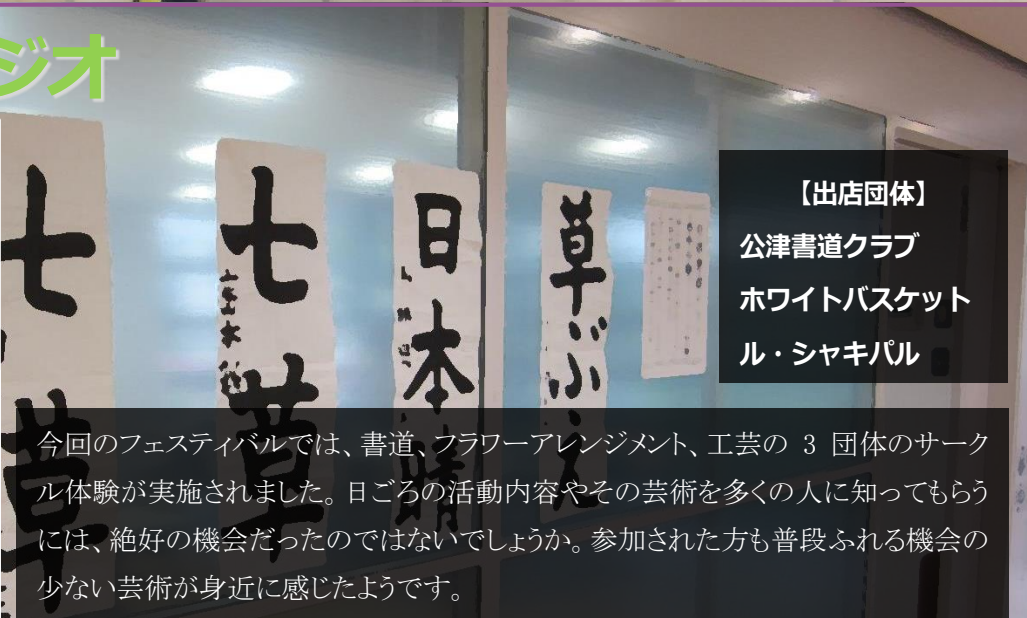
【出展団体】

- 青少年相談員
- 公津の杜中学校 PTA 有志
- 北須賀直売所まこも
- ひかり輝け！公津の杜商工会のぞみの園
- 公津の杜小学校 PTA
- 成田ヒスパニックサークル
- アーアンドデイだいえい
- ル・シャキバル
- なかよしひろば
- 成田市立図書館公津の杜分館
- アクティオ株式会社

1階なかよしひろばの前遊歩道では6団体、2階回廊・ホール前ホワイエでは6団体が食品や商品の販売や配布、ゲーム体験などを行いました。どのブースも絶えず人の流れがあり、時には長い列ができることもありました。とあるブースでは、子どもが手書きのプラカードを下げ、宣伝や出張販売をする姿も見られ、とても可愛らしかったです。

朝降っていた雨は、販売開始時にはやみ、遊歩道に設置されたテーブルには、おいしい焼きそばやモツ煮込などを食べた方の笑顔があふれていました。

会議室・スタジオ



【出店団体】

- 公津書道クラブ
- ホワイトバスケット
- ル・シャキバル

今回のフェスティバルでは、書道、フラワーアレンジメント、工芸の3団体のサークル体験が実施されました。日ごろの活動内容やその芸術を多くの人に知ってもらうには、絶好の機会だったのではないのでしょうか。参加された方も普段ふれる機会の少ない芸術が身近に感じたようです。

館主催イベント・講座



【イベント・講座内容】

ニュースポーツを体験しよう！

第 26 回 KOZU-KIDS チャレンジランキング

エビバリ☆デコポッキー

親子でつくろう！DECO クッキー

親子 de バルーンアート

会場巡りもりフェスクイズ

花苗のプレゼント！

星たまご

今回のフェスティバルでは、世界 3 位のバルーンアーティストに教えてもらえる「親子 de バルーンアート」、輪投げやストラックアウトなどを体験できる「ニュースポーツを体験しよう！」、ハートや星などさまざまなトッピングをする「エビバリ☆デコポッキー」、簡易プラネタリウム「星たまご」、「花苗のプレゼント！」など前回好評を頂いたものを継続し実施しました。

また毎月恒例の「KOZU-KIDS チャレンジランキング」もフェスティバルにあわせて開催しました。

そして今回からは、うなりくんグッズや新米が当たる「会場巡りもりフェスクイズ」を実施、参加者は問題を片手に会場を行ったり来たりと問題解きに夢中になっていました。



「図書館」コーナー



昨年に引き続き、今年も、図書館で使わなくなった本を皆さんに無償でお配りする「リサイクルフェア」を開催しました。リサイクル本として提供されたのは、出版から年数が経過したものや、改訂版・新版が出版されて内容が古くなったものなど、図書館での役目を終えた本です。

配布会場となったMORI×MORIホール前は、開始時間である10時よりも前から多くの方にご来場いただき、終日賑わいました。普段はあまり図書館にいらっしゃらない方にもお立ち寄りいただき、職員に声をかけてくださる場面もありました。

一人5冊までということで、並べられたたくさんの本を前に、熱心に選んだり、椅子に座って読みふけったりしている方もいらっしゃいました。子ども向けの絵本や児童書、料理レシピなどが特に人気で、この日1日でおよそ2000冊の本が新しい持ち主に出会い、引越していきました。

公津の杜分館にはありませんが、本館では、リサイクル本コーナーを常設しています。小さな規模ではありますが、今回のリサイクルフェアのようにリサイクル本をお持ち帰りいただけますので、本館にお立ち寄りの際はご利用くださ



「なかよしひろば」コーナー



「もりんぴあフェスティバル」では、2階ギャラリーで子ども達の絵や作品とママたちの作品の展示、手作りフェルトおもちゃ販売、ルームバンド体験コーナーを出店しました。

子どもたちの絵は、ふだんのひろばで、お子さんたちが自由に描いたものを展示しました。思い思いに自分の描きたいように描いた作品はのびやかで、まさに「子どもは小さなアーティスト」。毎月の楽しみとして誰でも作れる季節の制作もひろばでは人気で、楽しい作品がたくさん出来ました。そんな展示コーナーでは、わが子の作品が飾られているのを見て喜ぶママパパの姿も多く見られました。絵画、折り紙、布絵本、編み物などを展示したママの作品コーナーでは、その素晴らしい出来映えに、訪れた人も感心してじっくりと見ていました。

また、ままごとに使えぬフェルトおもちゃは大人気で午前中に完売、ルームバンド作りも多くのお子さんや親子が楽しそうに手作りを楽しみ、閉店する3時頃までとても賑わいました。

一方、なかよしひろばは憩いの場として通常通り開館しましたが、ひろば前に並んだ食べ物屋台から美味しそうな匂いがただよい、買い求めに行く方が大勢いました。お昼ご飯として買ってきた暖かい食べ物を、食事室で美味しそうに食べる親子の様子はフェスティバルならではの微笑ましい姿でした。



実行委員会とボランティア

今年度の「もりんぴあフェスティバル」より、実行委員会を立ち上げました。1月に行われた「サークル代表者会議」にて、実行委員会の設立が決められました。6月には、フェスティバル参加を表明した団体を中心に第1回実行委員会が開催されました。

実行委員会では、最初に全体会議が開かれ、参加団体および市担当者、コミュニティセンター職員の自己紹介の後、参加者の中から、会長に高橋良雄さん(成田アートフォトクラブ)、副会長に小林順子さん(ル・シャキパル)が選出されました。

また、次年度以降の開催日と参加団体についての基準案がコミュニティセンターより提案され、承認されました。

その他、当日の運営やボランティアのお願いなどの説明が行われました。

全体会議終了後には、ホール、サロン、ギャラリー、マルシェの部会ごとに別れ、部会長の選出、部会ごとのルールや確認事項、進行スケジュールの擦りあわせが行われました。

各サークル、団体とも6月から9月まで着々と準備を進められ、いよいよ9月27日の当日を迎えました。

当日の朝は、皆さん会場の設営や、リハーサルなどに勤しむ中、実行委員会のボランティアによる駐車場案内や、コンシェルジュとしての会場案内など、「もりんぴあフェスティバル」を支えるボランティア活動が始動しました。

また今回は、小学生による「子どもボランティア」が、入り口でのプログラムの配布や入場者数のカウント、イベントの受付やニュースポーツのサポート、KOZU-KIDS チャレンジランキングの運営にと大活躍でした。

そして、いつも屋上庭園の草花の手入れをして頂いているグリーンボランティアの方々、花苗のプレゼントの苗の詰めをお手伝いして頂きました。



編集後記

先日、とあるテーマパークに行ってきました。人気イベントの時期ということもあり、平日ながらたくさんの方で賑わっていましたが、聞こえてくる会話の多くに異国の言語が混じっていました。そのテーマパークでは、混雑緩和や危険防止のためのルールがあり、そのルールを理解してもらうのに苦労していました。ここ成田は国際都市。そういった場面に多く遭遇しそうです。そんな時、慌てずボディランゲージでも簡単な英語でもうまく伝えられるようにならなきゃと感じました。(K)

祭りも終り、秋深まりて。『李杜西行芭蕉牧水山頭火 羈旅漂白の思ひ湧きいづ』(T)

公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人：田村 修 編集：鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地

TEL 0476-27-5252 FAX 0476-27-5353

E-mail info-kozu@morinpiakozu.jp

HP <http://www.morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
川口こうづ
Morinpia Kozu